

友愛ネット

津山市立津山東中学校
令和 7年 9月16日
No.7



学校教育目標 地域とともに創る、笑顔があり元気な学校地域

～他者とのつながりを大切にし、自ら学び、行動する、自立した生徒の育成～

全国および県学力・学習状況調査の結果概要

今年度4月に実施された全国および県学力・学習状況調査について、結果の概要をお知らせします。

○学力調査の結果について

学年	教科	平均正答率（※理科は平均IRTスコア）		
		本校	全国	全国との差
1年生	国語	61.3	64.5	▲3.2
	数学	62.4	66.8	▲4.4
	英語	76.5	81.4	▲4.9
2年生	国語	62.3	65	▲2.7
	数学	47.4	53.6	▲6.2
	英語	40.9	51.3	▲10.4
3年生	国語	53	54.3	▲1.3
	数学	43	48.3	▲5.3
	理科	※475	※503	※▲28

教科によって全国との差に違いはありますが、平均正答率は、各教科、各学年とも全国平均を下回る結果となりました。各教科とも基礎的な学習内容の定着を中心に課題が見られました。

一方で、授業に関する調査では、授業中の ICT 活用に関する項目や学習への主体的な取り組みに関する項目で全国平均を上回っていました。

※3年生全国調査より（肯定的な回答の割合）

	本校	全国
・授業中、ICT 機器を毎日使用する	92%	53%
・ICT 機器を使って、情報を整理することができる	77%	63%
・課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	85%	77%
・学習内容を見直し、次の学習につなげることができる	82%	73%

本校では、「教える」「させる」から「委ねる」「支える」指導への転換を研究テーマとして、生徒が主体的に学びを深める授業の様々な手立て（一人一台端末の積極的な活用や、授業や单元ごとに学習活動を振り返りながら自らの学習に見通しを持つこと、他者と協働しながら課題の解決に取り組むことなど）に取り組んでいます。

基礎的な学習内容の確実な定着に取り組むとともに、こうした授業の進め方を今後大切にしていきます。

○学習状況調査の結果について

・自己肯定感について

「自分にはよいところがあると思いますか。」という問いに対する肯定的な回答は、全国・県の平均と比べ、1・2年生はやや低く、3年生はやや高い結果でした。学年が上がるごとに肯定的な回答が多くなっています。今後も引き続き、授業や行事、部活動など、様々な教育活動を通して、生徒一人一人が充実感と達成感を感じられるよう取り組み、自己肯定感を育んでいきます。

・家庭での過ごし方について

「学校の授業以外に、普段1時間以上勉強する」、「休日に2時間以上勉強する」生徒の割合は、いずれの学年も全国・県の平均を下回りました。一方で、1、2年生の県調査からは、平日1日にスマートフォン等でゲームをしたり、SNSや動画を視聴したりするなど、メディアと接する時間が平均より長く、3時間以上と回答した生徒が4割近くいることがわかりました。また、睡眠時間が平均より短いこともわかっています。

個々の生徒で状況は異なりますが、家庭学習として予習や復習等の自主学習に計画的に取り組むことや、スマートフォンなどの使用時間や使用場所にルールを作ることなど、家庭での過ごし方についてお子様とゆっくり話す機会をつくっていただきたいと思います。

・地域との関わりについて

「地域の行事に参加した。」「地域や社会のために何かしてみたいと思う。」という質問に肯定的に回答した生徒の割合は、全国・県平均よりやや低い結果となりました。

各町内では地域行事に中学生の参加を促してくださったり、公民館で中学生が参加し活躍できる活動を計画してくださったりしています。

また、本校では、全学年で「つやま郷土学」に取り組み、地域の方々と交流したり、郷土の良さや課題について考え、地域への理解を深めたりする学習に取り組みはじめています。今後も引き続きこうした取り組みを通して、生徒たちの地域に貢献する活動への関心を育てていきます。

本校では、学校教育目標「地域とともに創る、笑顔があり元気な学校～他者とのつながりを大切に、自ら学び、行動する、自立した生徒の育成～」を踏まえ、全ての教育活動において、主体的に取り組み、自分の考えを深め、互いに高め合うことができる生徒の育成を目指していきます。

この度の全国及び岡山県学力・状況調査の結果についても、こうした教育活動を振り返り、見直していく材料として活用いたします。

